授業科目	科目ナンバリング	単位数	カリキュラムマップ ◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連 DP1 「コミュニケーション力」 様々な説明の方法や手段を駆使し、意見の異なる相手との相互理解を得ることができる。	DP2 「問題解決力」 新しい視点を持って自ら問題を発見し、最善の解決策を選択し、計画的に実行できる。その結果を多面的に検証し、計画の見直しや次の計画に反映することができる。	DP3 「知識獲得力」 継続的に深く広く情報収集に努め、取捨選択した上で、知識やノウハウを修得し、関連付け、他者が思いつかない形で活用することができる。	DP4 「組織的行動能力」 チーム、組織の目標を達成するために何をすべきか、関係者の利害を複数の視点から幅広く考慮したうえで適切な判断を下し、自ら進んで行動を起こすだけでなく、目指すべき方向性を示し、他を導くことができる。	DP5 「創造力」 知的好奇心を発揮して様々な専門内外のことに関心をもち、それらから着想を得て科学技術の発達に貢献するような独自のアイディアを発想することができる。その際、関連法令を遵守し、倫理観を持って技術者が社会に対して負っている責任を果たすことができる。	DP6 「自己実現力」 自らを高めるため、常に新しい目標を探しており、見つけるとその達成のために最短の道筋を考えてそれをたどるために努力する。失敗してもあきらめず、繰り返し挑戦する。	DP7 「多様性創発力」 多様性（文化・習慣・価値観等）の相互理解を得て適切に対応しつつ、自分が何を望むか、まわりが自分に何を望んでいるのかを総合的に判断し、行動できる。加えて、複数人の協同により、相乗効果を生み出すことができる。	DP8 「専門性」 専攻に応じた専門性を身に付けている。
分子細胞機能論	SG-BI5-9C01	2	△	◎	◎	△	○	○	○	◎
細胞機能制御論	SG-BI5-9C02	2	◎		○					○
細胞構造生物学	SG-BI5-9C03	2		△	○					○
生体計測・解析	SG-BI5-9C04	2	△	○	○	△	◎	◎	◎	○
環境生命科学	SG-BI5-9C05	2		○	○					○
微生物圏生態学	SG-BI5-9C06	2				○				○
多様性統合生物学	SG-BI5-9C07	2	○	○	○	○				○
分子細胞遺伝学	SG-BI5-9C08	2	△	○	○	△	◎	○	◎	○
応用分子生物学	SG-BI5-9C09	2	○	○	○	△			○	◎
生命高分子情報学	SG-BI5-9C10	2		○	○					○
分子生理機能工学	SG-BI5-9C11	2	△	○	○	△	◎	◎	◎	○
分子生物物理学	SG-BI5-9C12	2	△	◎	○	△	◎	◎	○	○
医用生命科学基礎	SG-BI5-9C13	2	◎	○		◎	○	○	○	
資源生物学	SG-BI5-9C14	2		◎	○		◎			○
分子細胞制御学	SG-BI5-9C15	2		◎	○		○	○	○	○
生物工学特論	SG-BI5-9C16	2		◎	○		○	△	△	○
生命科学特論第一	SG-BI5-9C17	2		◎	○		○	△	△	○
生命科学特論第二	SG-BI5-9C18	2								○
生命科学特論第三	SG-BI5-9C19	2		◎	○		○	△		○
生命科学特別講義第一	SG-BI5-9C20	2								○
生命科学特別講義第二	SG-BI5-9C21	2		◎	○		○		△	○
生物資源経済学	SG-BI4-9C22	2	◎	○		○	△		○	
生命科学論文研修第一	SG-BI5-9A01	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生命科学論文研修第二	SG-BI5-9A02	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生命科学論文研修第三	SG-BI5-9A03	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生命科学論文研修第四	SG-BI5-9A04	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎